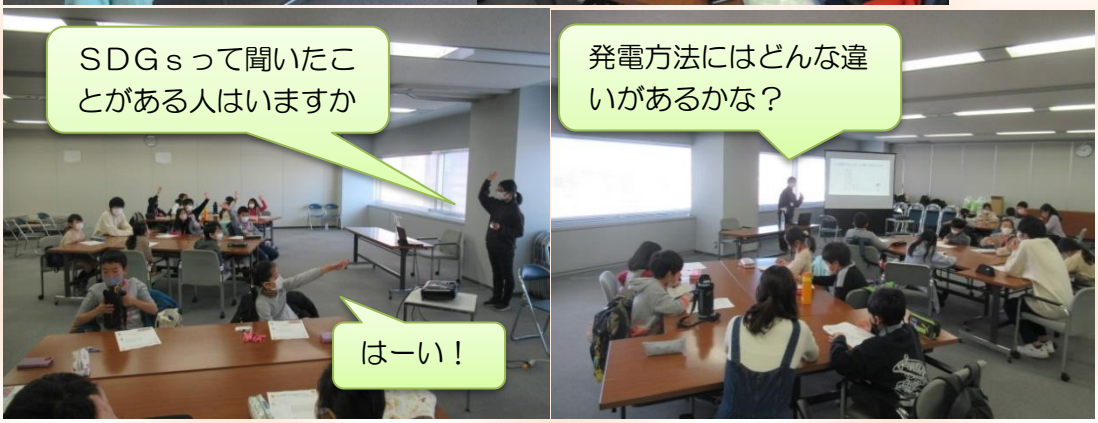
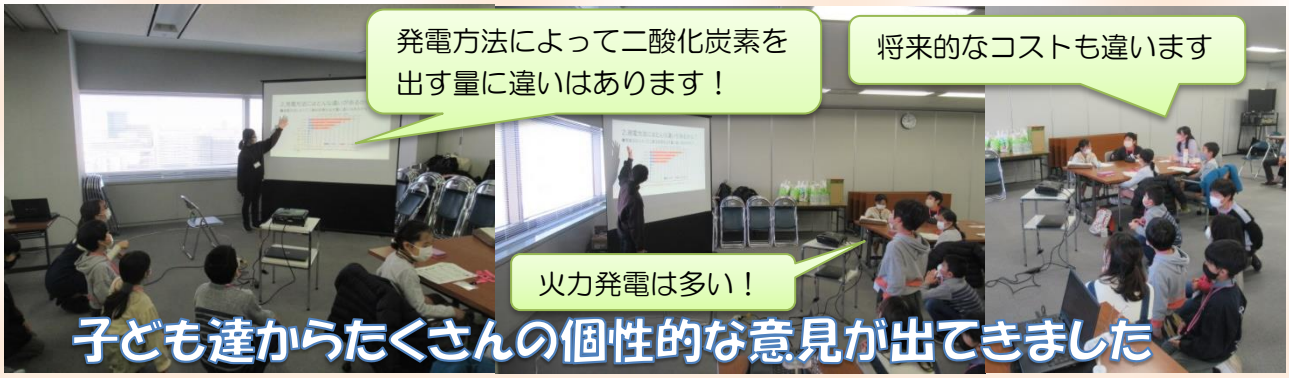
千葉市未来の科学者育成プログラムジュニア
「考えよう！わたしたちのＳＤＧｓ」

日時　令和５年１月２１日（土）１３：３０～１５：３０
場所　千葉市教育委員会　会議室
講師　千葉大学環境ＩＳＯ学生委員会の方々（千葉大学×京葉銀行 eco プロジェクト）
受講対象学年　小学校３年生および４年生　　**参加した受講生**　１４名

「千葉大学環境 ISO 学生委員会」の皆さんの企画による「SDGｓ」について子ども達と一緒に考えようという講義でした。今回の講義では、「ＳＤＧｓ」の１７の大きな目標のうち、⑦「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」、⑬「気候変動に具体的な対策を」の３つの目標に絞って、学習を行いました。



次に、火力発電、原子力発電、風力発電、水力発電、バイオマス発電、太陽光発電、地熱発電など、発電方法の種類について学習をしました。



後半は、ペットボトル風車を利用した、風力発電機を作成しました。羽根の部分をどのような形や大きさにしたらよく回るか考えながら、子ども達は夢中になって作業をしていました。

羽根がまわって、ペットボトルにつけたLEDランプが点灯すると、楽しくて何度も羽根の角度を変えたり、羽根を作り直したり、終わりの時間まで調整をしていました。

◆参加した児童の感想

- 風力発電気を作れてよかったです。自分で太陽光パネルのかいぞうばんみたいのは作った事があるけど、風力発電は作った事がなかったので、いいけいけんになりました。
- SDGsのこと、かんきょう問題のことが、とてもよく分かりました。政策経費のことや、未来（２０３０年）の事も知れて良かったし、風力発電機を作るのも楽しかったです。
- はねの数を変えるとまわったり、まわらなかったりしておもしろかったです。
- 今日いろいろなことがいっぱい知ることができて楽しかったです。風力発電機が作れてうれしかったし、もようがカラフルにできてうれしかったです。もっといろいろなことに、ちょうせんして自分で気づいていきたいと思っています。Good！
- はつ電にもいろんなしゅるいがあるなんて、しらなかったし、はつ電のしゅるいのほかにも、勉強になりました。さいごに、風力はつ電を作って、とても楽しかったです。
- ペットボトルで風力発電気を作れてうれしかったです。また、他のプログラムもやりたくなりました。SDGsについてくわしくお話を聞けてうれしかったです。
- かんきょうには、悪いものと良い発電法がある。かんきょうに悪い物はだんだん高くなり、良い物はだんだん安くなる予想になっていることがわかった。

◆参加した保護者の感想

- 千葉大の学生さんと接することができ、学生さんへ自ら質問したりとても良い経験になったと思います。ありがとうございました。
- SDGsの内容をわかりやすく説明し、それに関わる風力発電工作につなげて、子どもの興味をもたせ、印象を深めたことがとてもよかった。
- 小学校で学んでいるSDGsを改めて考えるきっかけとなり、よかったと思います。また、学生さんが、講師・サポートをして下さり、より身近に感じられたと思います。